

## 主なご意見：幕張新都心の“のびしろ”とは？

### 新規性・先端性に関すること

#### 住む

- ・ ベイタウンは30年経ってほころびも見られてきている（石畳の修繕など）。維持管理の水準も要検討である。

#### 働く

- ・ テクノガーデンをリノベーションし、ベンチャーや学生が集まれるような、コミュニティサロン、情報発信基地をつくったらよい。
- ・ 県内の製造業と連携してはどうか。素材系の企業は社会実証の場を欲している。

#### 遊ぶ・癒やす

- ・ メッセから海や球場に行くときの歩道橋は、もっとわくわく感が欲しい。
- ・ 海辺と都会の両立は特有なので、海辺のまちづくりをしてはどうか。

#### 交流する（賑わい）

- ・ 幕張の中心部に人や建物が集中している印象であり、外に魅力的なコンテンツがあるとよい。
- ・ 幕張にエンタメ性のある映画祭はあまりないため、幕張で映画祭を実施してはどうか。
- ・ マルシェや 3 on 3 など、吸引力・目玉になるイベントの定期的な開催が必要ではないか。

#### 学ぶ

- ・ 駅前の高層ビルの一角に、企業と交流・インターンシップができる場、学生寮のようなものを企業との接点としてつくってはどうか。

#### 移動する

- ・ 国家戦略特区でのモビリティに取り組んでいるが、イオンモール前の新駅とどう連携していくか。
- ・ 高齢者の安全な移動のため、オンデマンド型電動自動運転を導入してはどうか。
- ・ 徒歩、エリア内、エリア外の3段階の移動手段を整備するとよい。

#### 交流や議論の場づくり

- ・ 日々幕張海浜公園や海辺などでイベントが起こり、知らないうちに初対面の人と相席しているといった場の仕掛けが必要である。
- ・ まちの問題解決に向けて市民が集まって動く必要があるため、産学官民連携をオンラインを駆使して行ってはどうか。

#### ブランディング

- ・ 幕張は景色が良く、テレビでよく出てくるため、そうした強みをPRしてはどうか。市民が使えるスタジオを作って世界に配信するのも一案である。
- ・ 国際的に見ても、ベイタウンはかなり広い居住空間であり、自慢してよい。

## 主なご意見：幕張新都心の“のびしろ”とは？

### 多様性に関すること

#### 住む

- 家族連ればかりでなく、単身者・若者も住まうことができる場所にしてはどうか。飲食店も家族向けだけでなく多様な店ができるようになる。

#### 買う（買い物）

- 人が集まる場をつくるのが根本的な価値提供であるので、新駅前イオンモールに、買い物プラス、何かの機能を付加していければよい。

#### 交流する（賑わい）

- 住民同士でリアルタイムに情報が分かる仕組みを構築するよい。人との出会いに繋がりそう。
- 学校、居住、就業とエリアが分かれているので、見えている姿が違うかも。エリアをつなぐコミュニケーションツールがあればよい。

#### 学ぶ

- 住民・企業参加型のマクハリアカデミーを開講してはどうか。自由に誰もが参加でき、教師も住民で担う。
- 住民が互いに教師・生徒になる全世代型アカデミーを、建物内の座学ではなく海辺で開放的に実施してはどうか。

#### 交流や議論の場づくり

- 若者も参画した、全世代参加型のコミュニティの構築が必要である。市民がどう思っているかを企業や役所に把握してもらいたい。

#### 移動する

- 神田外語学生は、新都心に行くことはあまりないので、海の方まで移動できる動線（自転車道など）があるとよい。
- シェアサイクル、キックスクーターなど最新モビリティがあるとよい。池バスは乗るだけで楽しく、自然と向いに座っている人と会話が生まれる。

※池バス：池袋の街を走る電気バス。電動リフトを装備しており車いす利用者も乗車できる。

## 主なご意見：幕張新都心の“のびしろ”とは？

### 都市経営に関すること

#### 安心して過ごせるまちづくり

- ・ 防災上の注意喚起をする学びの場が必要。気づいたら学んでいる仕掛けを家庭やコミュニティ内でできればよい。
- ・ 自治会連絡網、コミュニティFMなども有効ではないか。

#### 様々な地元関係者が連携できるための場づくり

- ・ 新しい分野に取り組むにも、若い力、企業・スタートアップ、学生などをつなげ、力を合わせる仕組みがあるとよい。
- ・ 京葉コンビナート、蘇我の製鉄所、発電所などの遊休地を有効利用してベンチャーや研究機関と連携できると、次世代の千葉の産業を発展させるような基地になっていくのではないか。
- ・ 行政・民間企業・住民・学生それぞれの意見を聞ける団体、場があるとよい。

#### 幕張の各スポットを連続して訪れたいまちづくり (まちへのアクセス改善)

- ・ コミュニケーションツールとモビリティが連携できるとよい。年配の方にとってイオンが集まる場になり、無料バスを年配の方に使ってもらうなど、移動手段を通じてまちの情報、交流の機会になるとよい。

#### 今後のまちのインフラ活用のあり方

- ・ 今後想定される建物の建て替えをきっかけに、あえて機能を混ぜると楽しいのではないかと思う。

#### ブランディング

- ・ 幕張は景色がよく、撮影許可が得やすい。音楽・アート・作家・映画といったイベントを実施してはどうか。
- ・ 対外的に発信するアンバサダーを招致し、幕張の魅力を発信できるとよい。ホテルを利用した方が発信するといった手段も考えられる。